

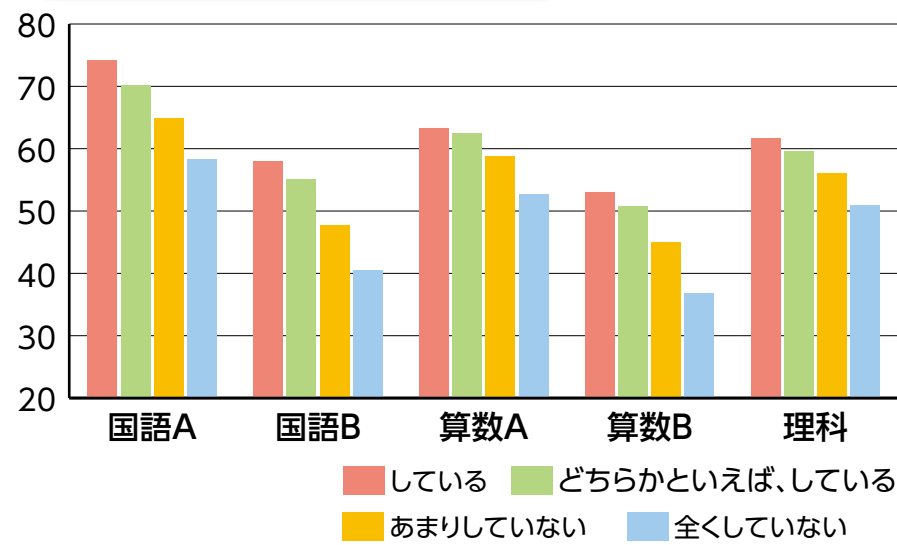
家庭におけるコミュニケーションを大切にしましょう。

「家の人と学校での出来事について話をしますか」という質問に肯定的な回答をした子どもたちは、教科に関する調査の平均正答率が高いという結果が出ています。家庭における対話は、子どもたちの成長にとって大きな意味を持ちます。また、「将来の夢や希望を持っている」と回答した児童生徒の割合が全国に比べて低いことから、家庭でも子どもたちの夢や目標について話す機会をぜひ設けてください。

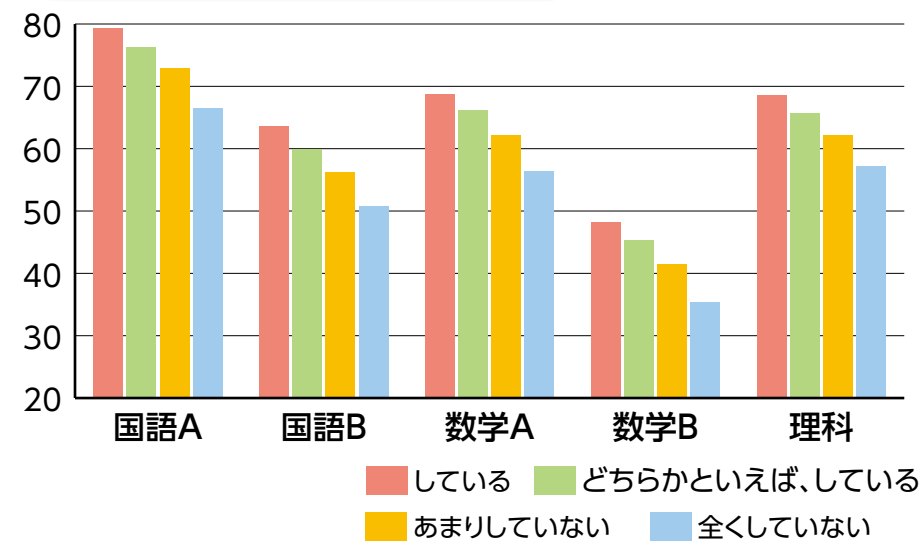


「家の人と学校での出来事について話をしますか」

選択肢別の平均正答率(小学校)



選択肢別の平均正答率(中学校)



本年度の調査問題から



全国学力・学習状況調査の教科に関する調査では、これからの子どもたちに身に付けさせるべき力を意識した問題が出題されています。従来の「何を理解しているか、何ができるか」という知識・技能が問われる問題から、「理解していること、できることをどう使うか」という思考力、判断力、表現力が問われる問題に対応できる力を育成することが求められています。

例えば…

小学校算数B問題③

(1)メモの情報と棒グラフを組み合わせたグラフを関連付け、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述する力を問う問題

えりかさんとまさるさんは、しおりさんが書いたメモについて話し合っています。



えりか

メモ1を見ると「進んであいさつをする」のほうが人数が多いです。でも、メモ2を見ると「本をよく読む」のほうが人数が多いですね。



まさる

メモ1では、「進んであいさつをする」のほうが人数が多く、メモ2では、「本をよく読む」のほうが人数が多いのは、なぜですか。



しおり

メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書いているからです。

しおりさんが言うように、メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書かれています。

メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれていますか。それぞれ着目していることを、言葉や数を使って書きましょう。

〈正答例〉

メモ1は、12月の人数に着目して書かれていて、メモ2は、7月の人数と12月の人数の差に着目して書かれています。
(平均正答率(%) 鳥取県19.4%(全国20.7%))

問合せ先 県教育委員会小中学校課
電話 0857(26)7935 FAX 0857(26)8170



育ちと学びをつなぐために



乳幼児期は、学びの土台となる力を身に付ける時期です。小学校においては学びをゼロからスタートするのではなく、その力を引き継ぎ、幼児期に身に付けたことを生かしながら教科等の学びにつなぎ、子どもたちの力を伸ばすことが重要です。

遊びを中心とした幼児期の教育と教科等の学習を中心とする小学校教育では、教育内容や指導方法は異なっていますが、子どもの発達や学びはつながっています。幼児期の教育の特性である遊びを通しての総合的な指導が、義務教育及びその後の教育の基盤を築いています。

鳥取県教育委員会では、子どもの発達や学びの連続性を保障するため、幼保小連携・接続のさらなる充実に向けて取組を進めています。

その取組の一つが「鳥取県幼保小連携推進事業」です。



「遊び」を通して、いろんな力が育まれます！
小学校以降の学習や生活につながります

鳥取県幼保小連携推進事業

県内3地域の幼保小連携・接続に関する課題に対応した特色ある取組を実施し、幼児教育と小学校教育のさらなる連携推進、円滑な接続を図る市町村を支援しています。

鳥取市立浜村保育園・浜村小学校

保育士が小学校の学習補助をしたり、小学校教員が保育園の保育体験をしたりしながら、校区の子どもの姿や遊びの中の学びについて語り合い、お互いの教育内容について理解を深めています。また、幼児期の学びを生かした指導の実践やカリキュラム作成等、教育をつなぐ取組を実施しています。

倉吉市全園・小学校

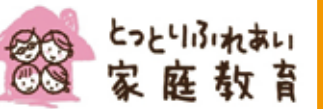
倉吉市幼児教育研究会・幼保小連携推進担当者合同研修会として、大学教授による講義「幼保小接続カリキュラム改善の視点と方法」や、小学校区でアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムの見直しを実施するなど、互いの教育内容の理解を深めながら、子どもの育ちや学びをつなげるための接続カリキュラムにできるよう改善を進めています。

米子市立就將小学校校区の園・小学校

就將小学校と校区の6園が、幼稚園・保育園・認定こども園の教職員による小学校児童への読み聞かせや、小学校教諭による学校ごっこ、小学校長による保護者講演会などの取組を工夫しています。これらのことにより、子どもたちの不安解消や保護者の心配を早い時期から受け止め、信頼関係構築のための取組を進めています。

問合せ先 鳥取県幼児教育センター(小中学校課幼児教育担当) 電話 0857(26)7915 FAX 0857(26)8170

家族の時間・つながりを大切にしよう



たくましく・夢をもって
自立できる子どもを育てる
～家庭教育の4つのポイント～



生活習慣を身につけよう

- 早寝・早起き・朝ごはんでは生活リズムを整えましょう。
- 家庭学習やメディア使用に家庭のきまりをつくりましょう。



生きる力を育てよう

- あいさつやマナーの手本を示し、人と関わる力や判断力を育てましょう。
- 家族の一員として役割を与えましょう。



夢を育てよう

- 親の勤勉な姿、挑戦する姿、楽しむ姿を見せ、一緒に夢を語りましょう。
- 読書や体験で、感性や知的好奇心を育みましょう。



広い心で受けとめよう

- 子どものできる力を信じ、見守るゆとりを持ちましょう。
- 良いこと・悪いことを自分で判断できるように、愛情をもってほめたり叱ったりしましょう。

「眠育」の
ススメ

子どもたちの健全な心身の成長には、十分な睡眠と適切な生活リズムが必要です。子どもたちに睡眠の大切さを伝え、自分の睡眠について考える取組を進めていきましょう。

忙しい日々の中に、埋もれてしまいがちなかけがえのない家族との時間ですが、一緒に笑ったり、喜んだり、感動したり、励ましあったり、そんな何気ない毎日のやりとりが生きる力の源です。

温かな心を育てる あったかことば
やる気につながる言葉をつかってみましょう。

ことばでちゃんと伝えよう

「大好きだよ!」「大事だね。」「大切だよ。」

できないことよりがんばりを認めよう

「いいね!」「すごいね!」「がんばっているね!」「オッケー!」

うれしい気持ちをたくさん伝えよう

「ありがとう!」「うれしいな。」

つらい気持ちも受けとめよう

「だいじょうぶ。」「つぎ、がんばろう。」



問合せ先 県教育委員会小中学校課
電話 0857(26)7521 FAX 0857(26)8170

